

[第10回] 東京大学医学部附属病院

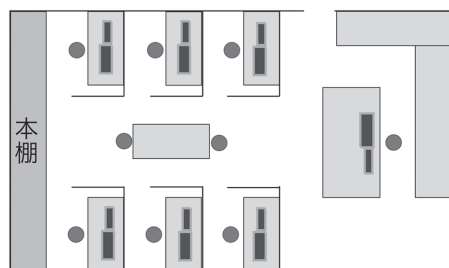
柴田英介, 阿部 修 東京大学医学部附属病院 放射線科



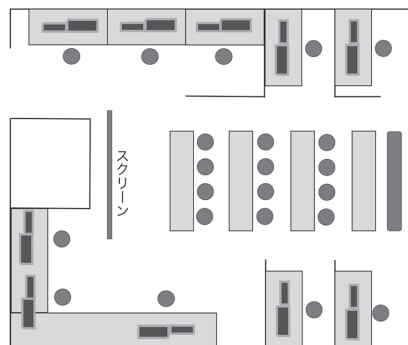
図1 放射線科受付裏の読影室



図2 MRI検査室に併設された読影室



配置図① 放射線科受付裏の読影室



配置図② MRI検査室に併設された読影室

DATA

場所：中央診療棟1階，地下1階，地下3階

PACS/レポートシステム：GEヘルスケア・ジャパン社製/ジェイマックスシステム

電子カルテシステム：富士通社製

音声認識ソフト：AmiVoice社製

スタッフ人数：36人(放射線診断医，放射線治療医，専攻研修医を含む)

読影室は，中央診療棟1階の放射線科受付裏の読影室(配置図①，図1)と，地下1階のMRI検査室に併設された読影室(配置図②，図2)の2カ所が主体である。そのほかにも研究棟，CT検査室や血管造影室，核医学検査室に併設された読影端末がある。研究棟には当直室があり，当直室内にも読影端末が設置されているため，夜間に読影の依頼などがあった場合は，当直室内でも対応可能となっている。

読影端末・読影環境

読影室の端末は個人の机に置かれているわけではなく，設置されている端末はどこでも自由に使用することができる。半個室となっている読影スペースも放射線科受付奥の読影室や，MRI検査室に併



図3 読影室にある本棚



図4 カンファレンスの様子

設された読影室などに設置されており、集中して読影したい場合に利用する先生もいる。半個室の読影スペースは比較的広い読影室内に設置されており、仕切りのない読影スペースと同様に、何か相談したいことがあれば自由に質問できるような雰囲気を保っている。またMRI室に併設された読影室にはソファベットのあり、疲れた際には仮眠も取れる。

初期研修医や医学部生が放射線科をローテーションする際にも、各自の読影端末をなるべく確保して読影できるようにしている。

調べ物

主となる読影室には共有の本棚があり、誰でも自由に閲覧することが可能である(図3)。歴代の放射線科関連の雑誌や学会誌をはじめ、多数の教科書がそろっている。教科書も毎年随時追加されており、今では手に入らない絶版となっている教科書から、最新の教科書までそろっている。医学部生や初期研修医が放射線科をローテーションする際にも、自由に教科書を閲覧することができる環境のため、教科書を個人で購入しなくても問題ない。

また、読影端末ではカルテ端末と同一であり、インターネットでの接続も可能となっている。このため、読影で患者の臨床情報や検査結果などを調べたい際や、論文検索をしたい場合には、すべて同一端末で完結することができるため、便利な環境となっている。

特徴ある読影室

MRI室に併設された読影室は、カンファレンスを行うことができるように設計されている。放射線科内や他科とのカンファレンス、院外の施設も含めた勉強会などを随時行っている(図4)。放射線科独自のカンファレンス室であり、比較的自由に利用することができる。読影室兼カンファレンス室ということで、読影で忙しい場合も、カンファレンスの内容を傍聴することができる便利な場所である。また昼食時には、放射線科をローテーションしている研修医の先生の団欒の場所にもなっている。



あなたの読影室、紹介してみませんか？

各施設において、読影環境を整えるためにさまざまな工夫がなされていることと思います。「配置」「空間」「照明」など、皆さまのこだわりをぜひご紹介ください！ご応募については下記までお問い合わせください。

clinimage@medicalview.co.jp

※掲載の可否につきましては、編集部にて判断させていただきます。あらかじめご了承ください。